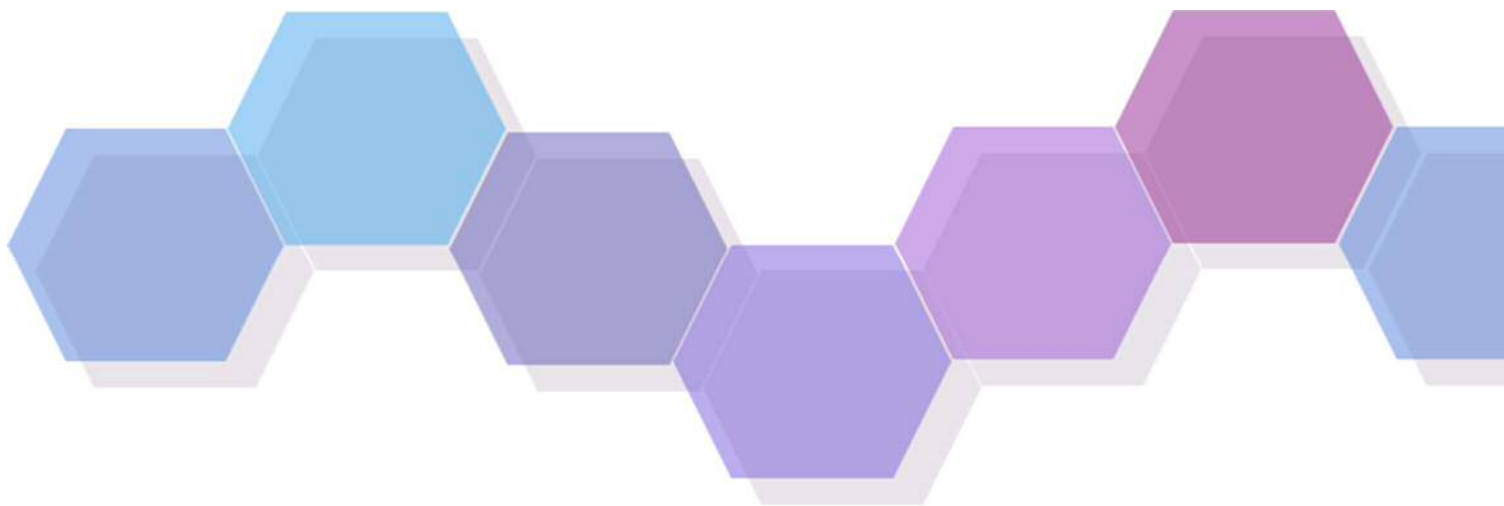




4 / 8 / 16 / 32 CH

## PoE NVR 取扱説明書【詳細設定編】

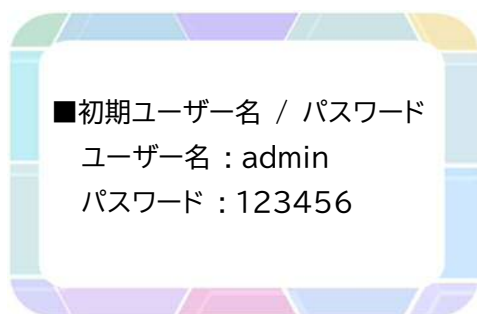


製品ご購入ありがとうございます。  
ご使用前に本取扱説明書をお読みください。  
内容は予告なく変更される場合があります。

## ⚠ 注意

---

- ◆ デバイスを安全に正しくご使用いただくため、取扱説明書を熟読ください。
  - ◆ 本取扱説明書の内容すべてが正しい保証はありません。内容は予告なく変更される場合があります。
  - ◆ 本デバイスはラベル記載の電源でのみご使用ください。ご使用前に電圧をご確認ください。  
長時間使用しない際は、コンセントからプラグを抜いてください。
  - ◆ 本デバイスをラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブなど熱源の近くに設置しないでください。
  - ◆ 本デバイスを水の近くに設置しないでください。掃除は乾いた布でのみ行なってください。
  - ◆ 換気口を塞がず、機械周りについてはよい換気を確保してください。
  - ◆ 通常録画状態で NVR の電源を落とさないでください。  
正しい手順:①録画停止、②メニューバー左下の開始ボタンをクリック、③[終了]をクリックし、[終了]を選択して  
[OK]をクリック、④電源を落とす
  - ◆ 本製品は屋内用です。機械を雨や湿気にさらさないでください。  
固体や液体は筐体内に侵入した場合は、直ちに電源を落とし、  
再起動する前に資格のある技術者に機械チェックをお願いしてください。
  - ◆ 整備については資格のある整備員にご連絡いただき、技術サポート/承認を得てください。  
ご自身での修理は、いかなるパーツについてもご遠慮ください。
  - ◆ 本取扱説明書は、SCL-N004P01 / N008P01 / N016P01 / N032P01 用です。
- 



※本製品に HDD がキッティングされている場合、HDD の保証期間は3年です。

<b>1. アラーム</b>	<b>5</b>
1.1. センサーアラーム	5
1.2. アラーム出力	7
1.2.1. カメラの動体検知設定	7
1.2.2. 一般イベントの動体検知設定	9
1.3. 動体アラーム	10
1.4. スマート検知	12
1.4.1. ラインクロス(境界線検知)	12
1.4.2. 侵入検知	14
1.4.3. ターゲットカウント(ライン交差カウント)	15
1.4.4. 例外の検出	16
1.5. 例外アラーム	17
1.5.1. IP カメラオフライン	17
1.5.2. 例外アラーム	18
1.6. イベント通知	19
1.6.1. アラーム出力	19
1.6.2. メール	20
1.6.3. 画面	21
1.6.4. ブザー	21
1.6.5. プッシュ通信	22
1.6.6. 音声	23
1.6.7. 点滅	24
1.6.8. アラームサーバー	25
1.7. 手動アラーム	26
1.8. アラーム状態の表示	26
<b>2. ネットワーク</b>	<b>27</b>
2.1. ネットワーク	27
2.1.1. TCP/IP	27
2.1.2. ポート	28
2.1.3. メール	29
2.1.4. DDNS	30
2.1.5. UPnP	31
2.1.6. NAT	31
2.1.7. FTP	32
2.2. ストリーム設定	33
2.2.1. サブストリーム設定	33
2.3. ネットワーク状態	34
<b>3. ユーザー権限</b>	<b>35</b>
3.1. ユーザー管理	35
3.1.1. ユーザーの追加	36

3.1.2. ユーザー編集 .....	36
3.1.3. 権限グループ追加 .....	39
3.1.4. ユーザーログインとログアウト .....	40
3.1.5. 権限グループ編集 .....	40
3.2. セキュリティ .....	41
3.2.1. 許可・不許可リスト .....	41
3.2.2. ログアウト時プレビュー .....	42
3.2.3. Network Security .....	42
3.2.4. Password security .....	43
3.3. ユーザー状態 .....	44
3.3.1. オンラインユーザー .....	44
<b>4. システム .....</b>	<b>45</b>
4.1. 一般 .....	45
4.1.1. 一般設定 .....	45
4.1.2. 日時設定 .....	46
4.1.3. 出力設定 .....	46
4.1.4. POS 設定 .....	47
4.1.5. PoE 電源管理 .....	47
4.1.6. OSD 設定 .....	48
4.2. メンテナンス .....	49
4.2.1. ログ .....	49
4.2.2. 初期設定 .....	50
4.2.3. 更新 .....	50
4.2.4. バックアップと復元 .....	51
4.2.5. 自動メンテナンス .....	51
4.3. 情報 .....	52
4.3.1. 一般 .....	52
4.3.2. カメラ状態 .....	53
4.3.3. アラーム状態 .....	53
4.3.4. 録画状態 .....	53
4.3.5. ネットワーク状態 .....	54
4.3.6. HDD .....	54

# 1. アラーム

## 1.1. センサーアラーム



センサーアラーム設定全体を完了するには、各カメラの「センサーアラームの有効」と「アラーム出力の設定」が必要になります。

- ① 設定パネルの[センサーアラーム]をクリックします。



- ② センサーのアラーム出力に応じて、〈タイプ〉右の ☒ をクリックし「NO」または「NC」を選択します。
- ③ 各カメラのセンサーアラームを〈有効〉右の ☒ をクリックし「オン」にします。
- ④ 各カメラの〈スケジュール〉右の ☒ をクリックしスケジュールを選択します。
- ⑤ 〈時間〉、〈録画〉、〈静止画撮影〉、〈Push〉、〈アラーム出力〉、〈プリセット〉にチェックマークを入れます。
- ⑥ 〈ブザー〉、〈1 画面表示〉、〈メッセージ表示〉の「オン(有効)」または「オフ(無効)」を選択します。  
〈メール〉は必要に応じて設定します。
- ⑦ [適用]をクリックします。



センサーのアラーム設定項目	
時間	動体検知の検知間隔を指します。たとえば、〈時間〉が 10 秒に設定されている場合、動体検知が発生した直後から 10 秒以内の他の動体検知は継続的な動きと見なされ、アラーム出力は発生しません。
録画	<p>[設定]をクリックして、表示された「検知録画」画面で録画を有効にするチャンネルを設定します。</p> <p>〈カメラ〉から設定するチャンネルにチェックマークを入れて、 をクリックすると、〈検知カメラ〉に移動します。</p> <p>〈検知カメラ〉から設定しないチャンネルにチェックマークを入れて、 をクリックすると、〈カメラ〉に移動します。</p> <p>設定するチャンネルを〈検知カメラ〉に移動したら、[OK]をクリックすると設定が保存されます。</p> <p>動体検知が発生すると、有効にしたカメラの映像が自動的に録画されます。</p>
静止画撮影	<p>〈録画〉と同様に、「スナップショット起動」画面で〈検知カメラ〉を有効にするチャンネルを設定します。</p> <p>動体検知が発生すると、有効にしたカメラの映像が自動的に静止画で撮影されます。</p>
Push	設定を有効にすると、動体検知発生時にメッセージを送信します。
アラーム出力	<p>[設定]をクリックして、表示された「アラーム出力検知」画面でアラーム出力を設定します。</p> <p>設定を有効にすると、動体検知発生時にアラーム出力が発生します。</p> <p>アラーム出力の設定には、「アラーム出力の遅延時間」と「スケジュール」を設定する必要があります。詳細については、【1.6.1 アラーム出力】をご参照ください。</p>
プリセット	<p>[設定]をクリックして、表示された「プリセット起動」画面で各カメラのプリセットを設定します。</p> <p>プリセットの追加については、基本設定編の【5.2 プリセットの設定】をご参照ください。</p>
ブザー	<p>設定を有効にすると、動体検知発生時にブザーを鳴らします。</p> <p>詳細については、【1.6.4 ブザー】をご参照ください。</p>
1 画面表示	<p>設定を有効にすると、動体検知発生時に対象のカメラ映像を 1 画面で表示します。</p> <p>詳細については、【1.6.3 画面】をご参照ください。</p>
メッセージ表示	<p>設定を有効にすると、動体検知発生時にメッセージを表示します。</p> <p>詳細については、【1.6.3 画面】をご参照ください。</p>
メール	<p>設定を有効にすると、動体検知発生時にメールを送信します。</p> <p>メールの送信には、メール設定(受信者と送信者)が必要になります。</p> <p>詳細については、【1.6.2 メール】をご参照ください。</p>

## 1.2. アラーム出力

車両や人など動く物がカメラ映像の指定された範囲に表示されると動体検知が出力されます。

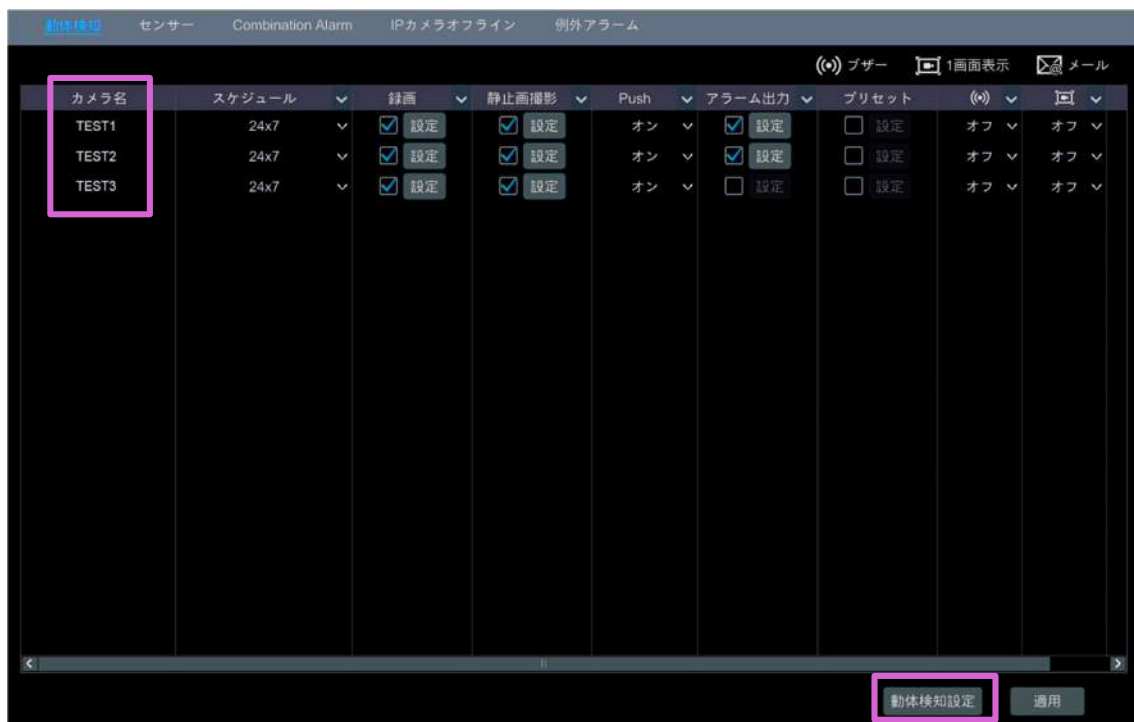
最初に各カメラのアラームを有効にします。各カメラの動体検知範囲を設定し、次に一般イベントの動体検知を設定して、アラーム出力全体を設定します。

### 1.2.1. カメラの動体検知設定

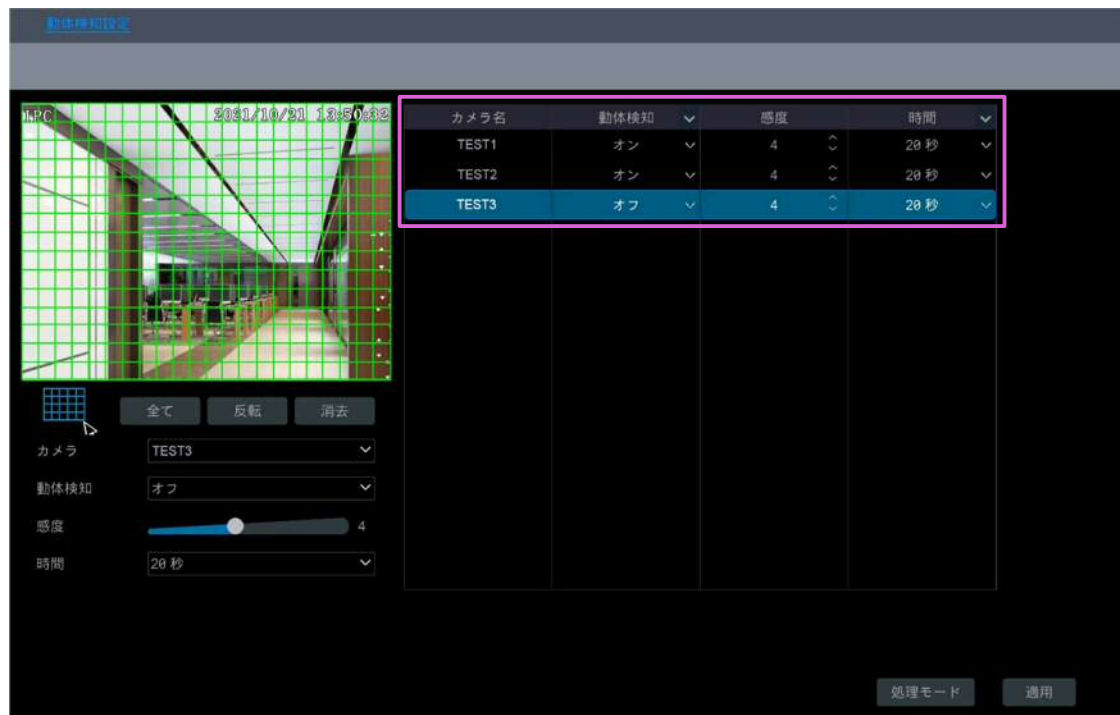
- ① 設定パネルの[動体アラーム]をクリックします。



- ② カメラを選択して、[動体検知設定]をクリックします。

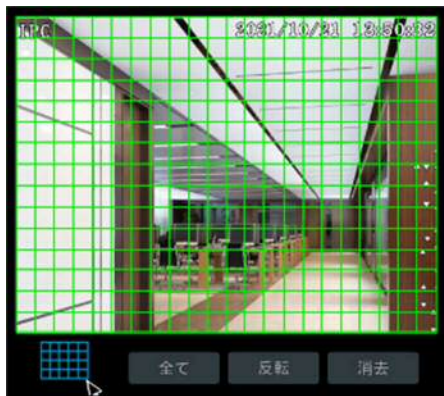


- ③ 選択したカメラの〈動体検知〉を「オン」にして、〈感度〉、〈時間〉を設定します。



#### 動体検知の項目

感度	設定値が高いほど、動きに対する感度が高くなります。感度は色や時間(昼夜)の影響を受けますので、実際の状況に合わせて調整してください。
時間	隣接する動体検知間の間隔時間を指します。たとえば、継続時間が 10 秒に設定されている場合、動体検知が発生した直後から 10 秒以内の他の動体検知は継続的な動きと見なされアラーム出力は発生しません。



- ④ カメラ画像をドラッグして、動体検知の範囲を設定します。複数の範囲を設定できます。  
 [全て]をクリックすると、カメラ画像全体を範囲に設定します。  
 [反転]をクリックすると、設定中の範囲と非範囲を反転します。  
 [消去]をクリックすると、設定中の範囲を消去します。
- ⑤ [適用]をクリックします。  
 [処理モード]をクリックすると、〈一般イベント〉の「動体検知」画面が表示されます。続けて〈一般イベント〉の動体検知を設定することができます。



## 1.2.2. 一般イベントの動体検知設定

- ① 設定パネルの[動体アラーム]をクリックします。



- ② 〈録画〉、〈静止画撮影〉、〈音声〉、〈Push〉、〈アラーム出力〉、〈プリセット〉、〈ブザー〉、〈1画面表示〉、〈メール〉を設定します。詳細については、【センサーアラーム 1.1 センサーアラーム】をご参照ください。

- ③ [適用]をクリックします。

[動体検知設定]をクリックすると、〈カメラ〉の「動体検知」画面が表示されます。



### 1.3. 動体アラーム

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、〈一般イベント〉の[Combination Alarm]、または画面上部の[Combination Alarm]をクリックします。
- ③ 〈Combination Alarm〉のチェックボックスにチェックを入れて、[設定]をクリックします。



- ④ 左図のウィンドウが表示されます。
- 〈タイプ〉と〈アラーム源〉右の ☒ をクリックして、タイプとアラーム源を設定し、[OK]をクリックします。

- ⑤ 〈録画〉、〈静止画撮影〉、〈Push〉、〈アラーム出力〉、〈プリセット〉、〈ブザー〉、〈1 画面表示〉、〈メール〉を設定します。

詳細については、【1.1 センサーアラーム】をご参照ください。

- ⑥ [適用]をクリックします。

The screenshot shows the 'Alarm / Alarm' configuration interface. The left sidebar contains navigation options: 'イベント通知' (Event Notification), 'スマート検知' (Smart Detection), '一般イベント' (General Event), and 'アラーム状態' (Alarm Status). The main area is titled '検知 / アラーム' (Detection / Alarm) and contains a table for configuring alarms. The table has columns for 'アラーム名' (Alarm Name), 'Combination Alarm', '録画' (Recording), '静止画撮影' (Still Image Shooting), 'Push', 'アラーム出力' (Alarm Output), and 'プリセット' (Preset). The '録画' column is highlighted with a red box and a red circle with the number 5. The '適用' (Apply) button is highlighted with a red box and a red circle with the number 6.

アラーム名	Combination Alarm	録画	静止画撮影	Push	アラーム出力	プリセット
Customized Alarm0	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm1	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm2	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm3	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm4	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm5	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm6	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm7	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm8	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm9	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm10	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm11	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm12	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm13	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm14	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定
Customized Alarm15	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定	オン	<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> 設定

## 1.4. スマート検知

### 1.4.1. ラインクロス(境界線検知)

人や車両などが、設定した境界線を通過するとアラームが出力されます。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[人/車両の周囲検出]→[境界線検知]をクリックします。

- ③ <カメラ名>でカメラを選択し、<IPC による検出を有効にする>のチェックボックスにチェックを入れます。



- ④ <時間>、<境界線>、<方向>を設定します。

<方向>の説明

A<->B:

A から B または B から A に境界線を通過すると、アラームが出力されます。

A->B:

A から B に境界線を通過すると、アラームが出力されます。

A<-B:

B から A に境界線を通過すると、アラームが出力されます。

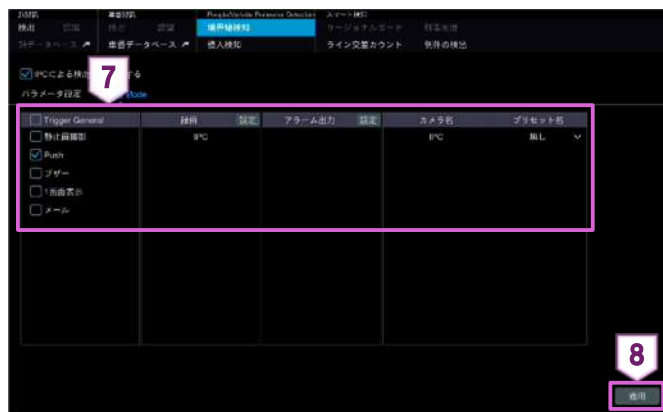
- ⑤ <検知エリア設定>のチェックボックスにチェックを入れて、カメラ画像をドラッグして境界線を設定します。

境界線を消去するには、<検知エリア設定>のチェックマークを外し、[消去]をクリックします。





- ⑥ 〈検出対象〉を選択し、〈感度〉を設定します。  
一部の IPC のみが、人または車両を個別に検出できます。  
カメラにこの機能が無い場合は、この手順をスキップしてください。



- ⑦ [Trigger Mode]を選択して、〈録画〉、〈静止画撮影〉、〈Push〉、〈ブザー〉、〈1画面表示〉、〈メール〉、〈アラーム出力〉、〈プリセット名〉を設定します。

〈アラーム出力〉は機種によって、機能の有無が異なります。

- ⑧ [適用]をクリックします。

#### 境界線検知の項目

録画	[設定]をクリックして、表示された「録画設定」画面で録画を有効にするチャンネルを設定します。 詳細については、【1.1 センサーアラーム】をご参照ください。 境界線検知が発生するとカメラ映像が自動的に録画されます。
静止画撮影	境界線検知が発生すると、カメラ映像が自動的に静止画で撮影されます。
Push	境界線検知発生時にメッセージを送信します。
ブザー	境界線検知発生時にブザーを鳴らします。 詳細については、【1.6.4 ブザー】をご参照ください。
1画面表示	設定を有効にすると、境界線検知発生時に対象のカメラ映像を1画面で表示します。 詳細については、【1.6.3 画面】をご参照ください。
メッセージ表示	設定を有効にすると、境界線検知発生時にメッセージを表示します。 詳細については、【1.6.3 画面】をご参照ください。
メール	設定を有効にすると、境界線検知発生時に電子メールを送信します。 メールの送信は、メール設定(受信者と送信者)が必要になります。詳細については、【1.6.2 メール】をご参照ください。
アラーム出力	[設定]をクリックして、表示された「アラーム出力設定」画面でアラーム出力を設定します。 設定を有効にすると、境界線検知発生時にアラーム出力が発生します。 アラーム出力の設定には、「アラーム出力の遅延時間」と「スケジュール」を設定する必要があります。詳細については、【1.2 アラーム出力】をご参照ください。
プリセット名	[設定]をクリックして、表示された「プリセット設定」画面で各カメラのプリセットを設定します。詳細については、基本設定編の【5.2 プリセット設定】をご参照ください。



### 1.4.2. 侵入検知

人や車両などが、設定した侵入検知エリアに侵入するとアラームが出力されます。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[人/車両の周囲検出]→[侵入検知]をクリックします。

- ③ 〈カメラ名〉でカメラを選択し、〈IPC による検出を有効にする〉のチェックボックスにチェックを入れます。



- ④ 〈エリア活動〉、〈方向〉、〈時間〉、〈検知エリア〉を設定します。

最大 4 つの検知エリアを設定できます。



- ⑤ 〈検知エリア設定〉のチェックボックスにチェックを入れて、カメラ画像をドラッグして検知エリアを設定します。

検知エリアを消去するには、〈検知エリア設定〉のチェックマークを外し、[消去]をクリックします。  
(検知エリア領域は、閉じた領域である必要があります)



- ⑥ 〈検出対象〉が表示されている場合、〈人〉、〈車両〉、〈車両以外〉のチェックボックスにチェックを入れて、〈感度〉を設定します。



- ⑦ [Trigger Mode]を選択して、〈録画〉、〈静止画撮影〉、〈Push〉、〈ブザー〉、〈1画面表示〉、〈メール〉、〈アラーム出力〉、〈プリセット名〉を設定します。

- ⑧ [適用]をクリックします。

### 1.4.3. ターゲットカウント(ライン交差カウント)

設定した境界線を通過した、人や車両の統計数を画面に表示します。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[スマート検知]→[ライン交差カウント]をクリックします。

- ③ 〈カメラ名〉でカメラを選択し、〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れます。



- ④ 〈アラームライン〉、〈方向〉を設定します。

- ⑤ 〈自動リセット〉、〈モード〉、〈時間〉を設定します。  
〈自動リセット〉を有効にすると、設定した時間に統計数をリセットします。  
[手動リセット]をクリックすると、現在の統計をリセットします。

- ⑥ 〈境界線設定〉のチェックマークにチェックを入れて、カメラ画像をドラッグして境界線を設定します。

境界線を消去するには、〈境界線設定〉のチェックマークを外し、[消去]をクリックします。



- ⑦ [適用]をクリックします。

#### 1.4.4. 例外の検出

カメラの映像に異常が発生した場合に検知します。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[スマート検知]→[例外の検出]をクリックします。



- ③ 〈カメラ名〉でカメラを選択し、〈時間〉、〈シーンチェンジ〉、〈ピンぼけ〉、〈色かぶり〉、〈感度〉を設定します。

シーンチェンジ:

カメラ映像が変更されると、アラームが出力されます。

ピンぼけ:

カメラ映像がぼやけると、アラームが出力されます。

色かぶり:

カメラ映像が不明瞭になると、アラームが出力されます。



- ④ [Trigger Mode]を選択して、〈録画〉、〈静止画撮影〉、〈Push〉、〈ブザー〉、〈1 画面表示〉、〈メール〉、〈アラーム出力〉、〈プリセット名〉を設定します。

- ⑤ [適用]をクリックします。



## 1.5. 例外アラーム

### 1.5.1. IP カメラオフライン

IPC(カメラ)がオフラインになった場合に通知します。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[IP カメラオフライン]をクリックします。
- ③ カメラを選択し、〈静止画撮影〉、〈Push〉、〈アラーム出力〉、〈プリセット〉、〈ブザー〉、〈1 画面表示〉、〈メッセージ表示〉、〈メール〉を設定します。  
詳細については、【1.1 センサーアラーム】をご参照ください。
- ④ [適用]をクリックします。



## 1.5.2. 例外アラーム

NVR の異常を通知します。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[例外アラーム]をクリックします。
- ③ 〈Push〉、〈アラーム出力〉、〈ブザー〉、〈メッセージ表示〉、〈メール〉を設定します。  
詳細については、【1.1 センサーアラーム】をご参照ください。
- ④ [適用]をクリックします。




## 1.6. イベント通知

### 1.6.1. アラーム出力

検知した場合にあらゆる方法で通知します。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[アラーム出力]をクリックします。
- ③ 各アラーム出力の〈時間〉、〈スケジュール〉右の  をクリックして、時間とスケジュールを設定します。  
詳細については、基本設定編の【6.2.1.スケジュールの追加】をご参照ください。  
[テスト]をクリックすると、アラーム出力を確認できます。
- ④ [適用]をクリックします。



## 1.6.2. メール

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[メール]をクリックします。
- ③ 受信者のメールアドレスを設定します。  
詳細については、【2.1.3 メール】をご参照ください。
- ④ [適用]をクリックします。



### 1.6.3. 画面

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[画面]をクリックします。
- ③ 〈1 画面表示〉する〈時間〉、〈メッセージ表示〉する〈時間〉を設定します。
- ④ [適用]をクリックします。



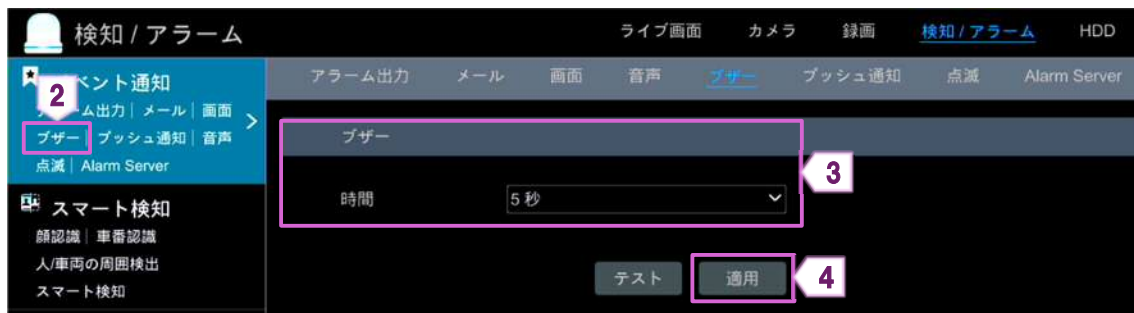
### 1.6.4. ブザー

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[ブザー]をクリックします。
- ③ ブザーを鳴らす〈時間〉を設定します。  
[テスト]をクリックすると、ブザーを確認できます。

- ④ [適用]をクリックします。



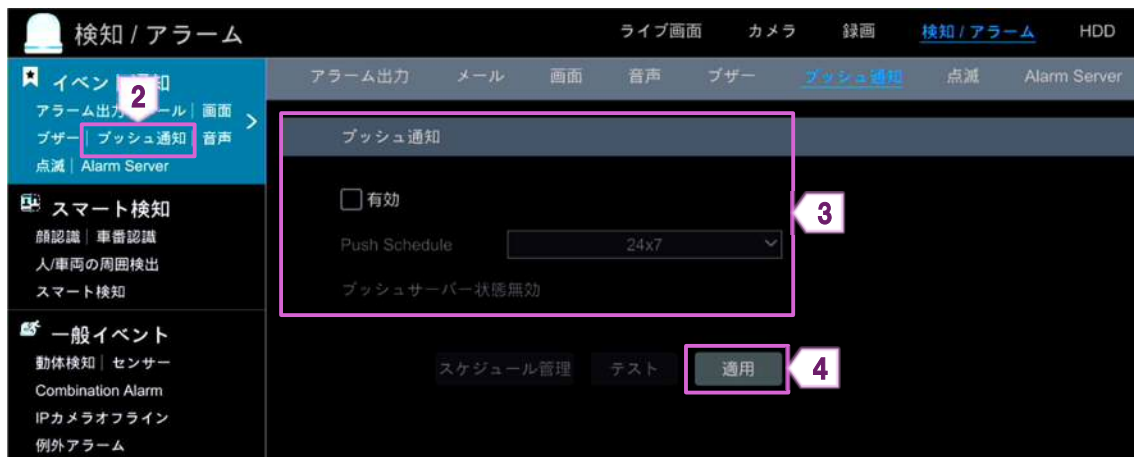
### 1.6.5. プッシュ通信

プッシュサーバーが有効の場合、スマートフォンなどのモバイル端末にプッシュ通知を送ります。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[プッシュ通知]をクリックします。
- ③ <有効>のチェックボックスにチェックを入れて、プッシュ通知のスケジュールを設定します。  
[スケジュール管理]を開くと、各スケジュールの編集が可能です。
- ④ [適用]をクリックします。





## 1.6.6. 音声

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[音声]をクリックします。
- ③ 〈音声放送〉を選択して、〈カメラ〉、〈音声〉、〈Times〉、〈音量〉、〈言語〉を設定します。
- ④ [適用]をクリックします。



続けて「オーディオ装置」を設定します。

- ⑤ 〈オーディオ装置〉を選択して、〈カメラ〉、〈オーディオ装置〉、〈デバイスのオーディオ〉、〈オーディオ入力エンコード〉を設定します。
- ⑥ [適用]をクリックします。



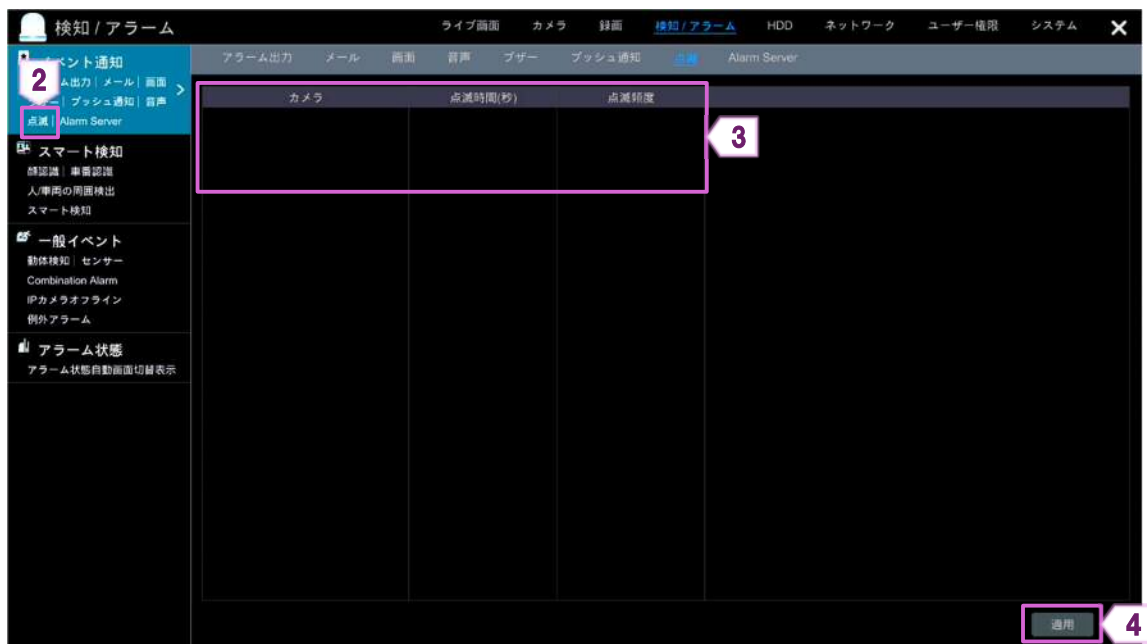
### 1.6.7. 点滅

アラームが出力されると、設定した点滅時間と点滅頻度でライトが点灯します。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[点滅]をクリックします。
- ③ <点滅時間(秒)>と<点滅頻度>を設定します。
- ④ [適用]をクリックします。





### 1.6.8. アラームサーバー

アラームが出力されると、アラーム出力をアラームサーバーに転送します。

アラームサーバーが必要ない場合は、設定の必要はありません。

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。




- ② 「検知/アラーム」画面で、[Alarm Server]をクリックします。
- ③ 〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れます。
- ④ 〈サーバーアドレス〉、〈ポート〉を入力し、〈プロトコル〉を選択します。  
〈Send Heartbeat〉(死活監視)が有効の場合は、〈Interval Time[s]〉(死活監視の通信間隔)を設定します。
- ⑤ [テスト]をクリックして、アラームサーバーの有効性を確認します。
- ⑥ [適用]をクリックします。



## 1.7. 手動アラーム

任意のタイミングで、手動でアラームを発動させることができます。





- ① メインインターフェース下部のツールバーで  をクリックします。
- ② カメラを選択して、[検知]をクリックします。  
手動アラームが開始します。  
[クリア]をクリックすると、手動アラームが停止します。
- ③ [閉じる]をクリックします。

## 1.8. アラーム状態の表示

- ① 設定パネルの[検知/アラーム]をクリックします。



- ② 「検知/アラーム」画面で、[アラーム状態]をクリックします。  
または、  
メインインターフェース下部の  をクリックします。
- ③ アラームが発生したときにブザーを停止する場合は、[クリア]をクリックします。
- ④ 詳細情報を確認するには、 をクリックします。



## 2. ネットワーク

### 2.1. ネットワーク

#### 2.1.1. TCP/IP

- ① 設定パネルの[TCP/IP]をクリックします。



- ② 初期設定では IP アドレスが自動取得になっています。IP アドレスを固定したい場合は、〈イーサネットポート 1〉で、〈IPv4 アドレス自動取得〉、〈IPv6 アドレス自動取得〉、〈DNS 自動取得〉のチェックマークを外し、手動で〈アドレス〉を入力します。

[詳細]からネットワークの状態に応じて MTU 値を変更できます。

MTU(Maximum Transmission Unit)は、ネットワークの状態に応じて変更すると、ネットワークの伝送効率が向上します。

- ③ [適用]をクリックします。



#### 内部イーサネットポートの項目

モード	ノンロングラインモード/ロングラインモードを選択できます。 PoE ポートと IP カメラに接続されたネットワークケーブルの伝送パフォーマンスがあまり良くない場合や、ネットワークケーブルが非常に長い場合にロングラインモードを選択できます。
-----	--

内部イーサネットポートのネットワークアドレスを変更すると、「カメラを検出することができない」、「カメラの設定変更ができない」等の問題が発生する可能性があるため、変更することは推奨しておりません。

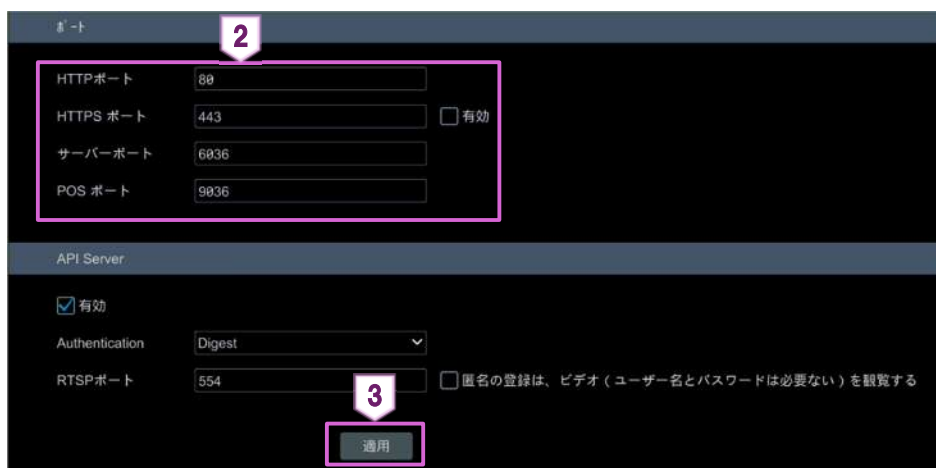
## 2.1.2. ポート

- ① 設定パネルの[ポート]をクリックします。



- ② 〈HTTP ポート〉、〈HTTPS ポート〉、〈サーバーポート〉、〈POS ポート〉を入力します。

- ③ [適用]をクリックします。



ポートの項目	
HTTP ポート	NVR のデフォルトの HTTP ポートは 80 です。 ポート番号は 81 などの他のポートに変更できます。 ポートは主に Web クライアントアクセスに使用されます。
HTTPS ポート	NVR のデフォルトの HTTPS ポートは 443 です。 HTTPS は Web サイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。
サーバーポート	NVR の標準サーバーポートは 6036 です。サーバーポート番号は必要に応じて変更できます。 サーバーポートは主にネットワークビデオ管理システムで使用されます。
POS ポート	NVR の標準 POS ポートは 9036 です。
API Server	NVR のユーザー名とパスワードを使用して、RTSP プロトコルをサポートするデバイスにログインできます。 ユーザー名「admin」は変更できません。パスワードは必要に応じて設定します。 API Server のユーザー名とパスワードで NVR にログインすることはできません。NVR のログインに使用するパスワードとは異なる API Server のパスワードを設定することを推奨します。

## ■ 補足

- ◆ RTSP ポートを有効にして設定することもできます。
- ◆ Web ブラウザで NVR にアクセスする場合は、http://192.168.11.61:81 のように Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスと HTTP ポートを入力する必要があります。

### 2.1.3. メール

- ① 設定パネルの[メール]をクリックします。



- ② 〈送信者名称〉、〈メールアドレス〉、〈SMTP サーバー〉、〈SMTP ポート〉を入力します。  
〈SMTP ポート〉の[初期値]をクリックすると、  
〈SMTP ポート〉の値がリセットされます。
- ③ 〈SSL〉、〈添付画像〉を設定します。
- ④ 送信者の〈ユーザー名〉を選択し、〈パスワード〉を入力します。  
(入力したメールアドレスに応じて、ユーザー名のリストが自動的に更新されます)
- ⑤ [適用]をクリックします。
- ⑥ [テスト]をクリックして、受信者のメールアドレスを入力します。

- ⑦ [OK]をクリックします。


入力した受信者のメールアドレスにテストメールが送信されます。

テストメールが正常に送信されなかった場合は、送信者の設定が正しく設定されているかをご確認ください。

次に受信者の設定を行います。



- ① [受信者編集]をクリックします。

- ② [追加]をクリックします。  
既に登録されている受信者を削除する場合は、  
〈削除〉列の  をクリックします。





- ③ 〈メール〉に受信者のメールアドレスを入力します。
- ④ 〈スケジュール〉右の ☒ をクリックして、スケジュールを選択します。  
選択されたスケジュール時間にアラーム出力が発生すると、受信者にメールが送信されます。

- ⑤ [追加]をクリックします。  
設定した受信者のメールアドレス設定が追加されます。



- ⑥ [適用]をクリックします。  
[送信者編集]をクリックすると、〈メール〉の「送信者」画面に戻ります。

## 2.1.4. DDNS

DDNS は、ドメイン名を設定して動的 IP アドレスを制御します。

DDNS が有効の場合、NVR に簡単にアクセスできます。

- ① 設定パネルの[ネットワーク]をクリックします。



- ② ネットワーク画面上部の[DDNS]をクリックします。



- ③ 〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れて、〈DDNS タイプ〉を選択します。
- ④ 選択した〈DDNS タイプ〉に応じて〈サーバーアドレス〉、〈ドメイン名〉、〈ユーザー名〉、〈パスワード〉を入力します。
- ⑤ [登録]をクリックします。  
入力したドメイン名が登録されます。
- ⑥ [適用]をクリックします。

## 2.1.5. UPnP

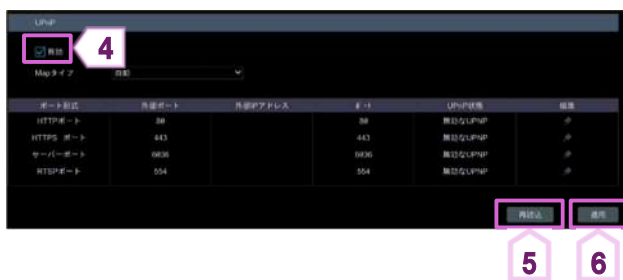
UPnP を使用すると、ネットワークにある Web クライアントがルーター経由で NVR にアクセスします。

- ① 設定パネルの[ネットワーク]をクリックします。



- ② ネットワーク画面上部の[UPnP]をクリックします。


- ③ NVR を接続しているルーターの UPnP が有効になっていることを確認して、NVR の IP アドレス、サブネットワークマスク、ゲートウェイ等を設定します。



- ④ 〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れて、[適用]をクリックします。
- ⑤ [再読み込み]をクリックします。  
〈UPnP 状態〉が「有効な UPnP」になっていることを確認します。
- ⑥ [適用]をクリックします。

### ■ 補足

数回、再読み込みした後〈UPnP 状態〉が「無効な UPnP」の場合は「ポート番号」が間違っている可能性があります。その場合は、

- ① 〈Map タイプ〉を「手動」に変更して、 をクリックします。
- ② 〈UPnP 状態〉が「有効な UPnP」になるまで「ポート番号」を変更します。

## 2.1.6. NAT

モバイル専用アプリで「NAT」画面に表示された QR コードをスキャンすると、すぐに NVR にアクセスできます。

- ① 設定パネルの[ネットワーク]をクリックします。





- ② ネットワーク画面上部の[NAT]をクリックします。
- ③ 〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れます。
- ④ 〈アクセスタイプ〉を選択します。
- ⑤ [適用]をクリックします。

### 2.1.7. FTP

一部のモデルはこの機能をサポートしていません。

- ① 設定パネルの[ネットワーク]をクリックします。



- ② ネットワーク画面上部の[FTP]をクリックします。
- ③ 〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れます。
- ④ 〈サーバーアドレス〉、〈ポート〉、〈ユーザー名〉、〈パスワード〉、〈Max File Size〉、〈Remote Directory〉を入力します。
- ⑤ [適用]をクリックします。



## 2.2. ストリーム設定

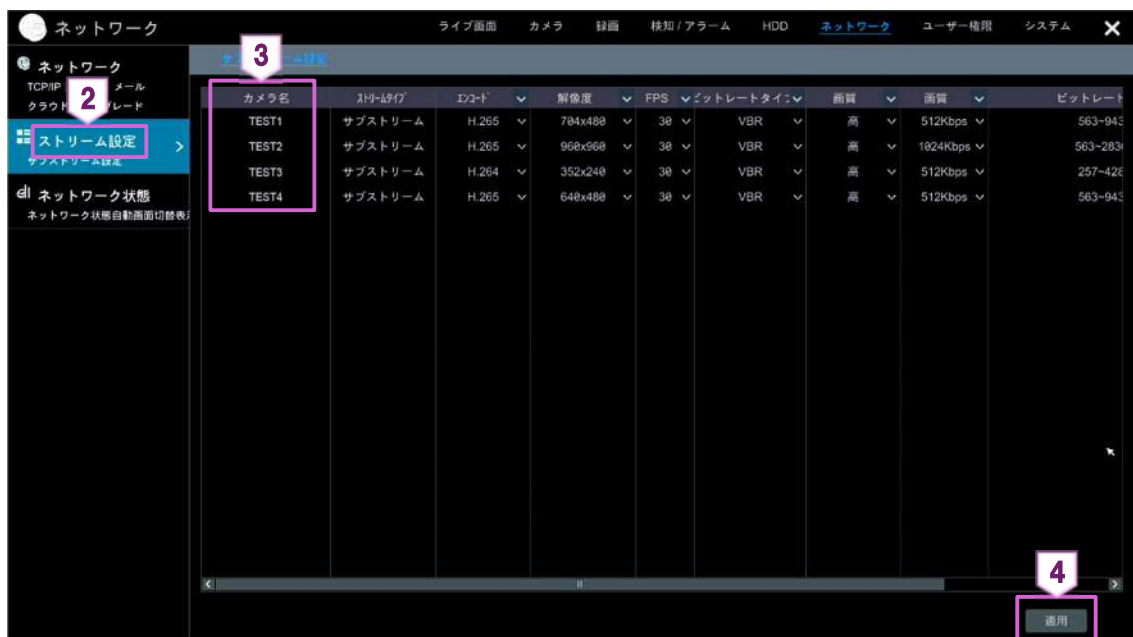
### 2.2.1. サブストリーム設定

各カメラのサブストリーム設定を変更できます。


- ① 設定パネルの[ネットワーク]をクリックします。



- ② [ストリーム設定]をクリックします。
- ③ 設定を変更するカメラを選択して、解像度や画質を変更します。
- ④ [適用]をクリックします。



## 2.3. ネットワーク状態

- ① 設定パネルの[ネットワーク状態]をクリックします。
- または、
- メインインターフェース下部のツールバーで  をクリックします。



## 3. ユーザー権限

### 3.1. ユーザー管理

- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。



- ② [ユーザー]をクリックします。



- 1 ユーザー権限を表示します。

- 2 ユーザーリストを表示します。

リスト内のユーザーをクリックし、【1】に選択したユーザーのユーザー権限を表示します。


ユーザーの権限グループには、標準の「管理者」、「詳細」、「共通」以外に新しい権限グループを追加できます。詳細については、【3.1.3 権限グループ追加】を参照してください。

ユーザーを管理できるのは、管理者(admin)と「管理者」のグループ権限を持つユーザーのみにになります。標準の権限グループ「管理者」は、「ユーザー権限」以外の【1】に表示される権限を所有します。

### 3.1.1. ユーザーの追加

- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。



- ② [ユーザー追加]をクリックします。  
または、  
「ユーザー編集」画面の  をクリックします。



- ③ 〈ユーザー名〉、〈パスワード〉、〈グループ〉を入力します。  
〈パターンロック〉を有効にすると、パターンロックを設定できます。  
〈メール〉は任意で入力します。

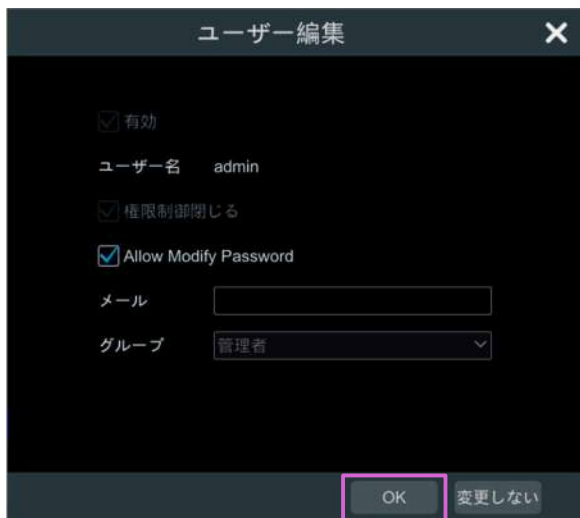
### 3.1.2. ユーザー編集



- ① 「ユーザー編集」画面の  をクリックします。




② [ユーザー編集]をクリックします。



③ ユーザー情報を編集し、[OK]をクリックします。

#### ■ 補足

- ◆ ユーザーリストの  をクリックすると、ユーザーが削除されます。
- ◆ ユーザー名「admin」は削除できません。



#### ❖ 秘密の質問を編集する

「秘密の質問編集」は管理者のみ編集できます。



① [秘密の質問編集]をクリックします。



② 〈質問〉と〈答え〉を入力して、[追加]をクリックします。

③ [OK]をクリックします。

#### ❖ パスワードの変更

ユーザー「admin」のみ、パスワードを変更できます。



① [パスワード変更]をクリックします。

② 〈現在のパスワード〉、〈新パスワード〉、〈パスワード確認〉を入力します。

③ [OK]をクリックします。

## ❖ パターンロックの変更

一部のモデルはこの機能をサポートしていない場合があります。

① [パターンロック修正]をクリックします。

② 〈現在のパスワード〉を入力し、〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れます。

③ [編集]をクリックします。

④ パターンロックを設定します。

⑤ [OK]をクリックします。

## ❖ パスワードの復元

① [パスワード復元]をクリックします。  
パスワードが「123456」に復元されます。

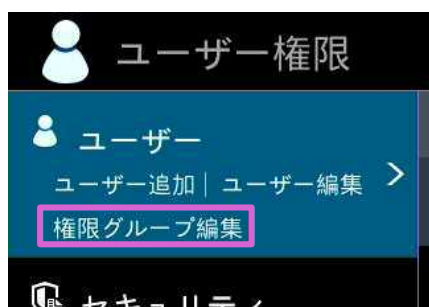


### 3.1.3. 権限グループ追加

- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。



- ② [権限グループ編集]をクリックします。



- ③ 画面右上の **+** をクリックします。



- ④ 〈グループ名〉を入力し、〈設定〉と〈機能〉を設定します。

- ⑤ 〈ローカル〉と〈リモート〉のアクセス許可を設定します。


※設定・視聴にかかわらず遠隔地からのアクセスを許可したい場合は、必ず「リモートログイン」にチェックを入れてください。

- ⑥ [追加]をクリックします。





### 3.1.4. ユーザーログインとログアウト

ログインは

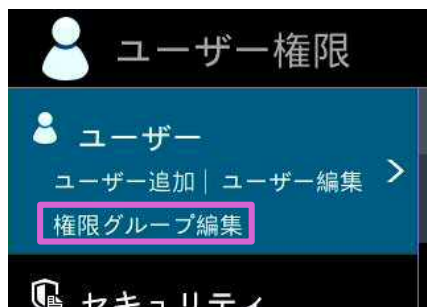
- ①  → [ログイン]をクリックします。  
または、
- ① メインインターフェースをクリックします。
- ② ユーザー名とパスワードを設定し、[ログイン]をクリックします。

ログアウトは

- ①  → [ログアウト]をクリックします。  
または、
- ①  → [終了]をクリックします。
- ② 「終了」画面で<ログアウト>を選択し、[OK]をクリックします。




### 3.1.5. 権限グループ編集

- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。



- ② [権限グループ編集]をクリックします。



- ③ グループリストの  をクリックします。  
「権限グループ編集」の操作は「権限グループ追加」の操作と同じです。詳細は【3.1.3 権限グループ追加】を参照してください。  
 をクリックすると、権限グループを別のグループとして保存します。  
 をクリックすると、権限グループを削除します。  
標準の権限グループ「管理者」、「詳細」、「共通」は削除できません。



## 3.2. セキュリティ

操作される端末の IP アドレスによる許可・不許可の設定ができます。

### 3.2.1. 許可・不許可リスト

- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。




- ② 「ユーザー権限」画面で[許可・不許可リスト]をクリックします。




- ③ 〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れます。

- ④ 「許可リスト有効」または「不許可リスト有効」を選択します。

- ⑤ [IP 追加]をクリックします。

 をクリックすると、IP アドレスを編集できます。

 をクリックすると、IP アドレスを削除できます。



- ⑥ 〈有効〉のチェックボックスにチェックを入れて、IP アドレスを設定します。

- ⑦ [OK]をクリックします。

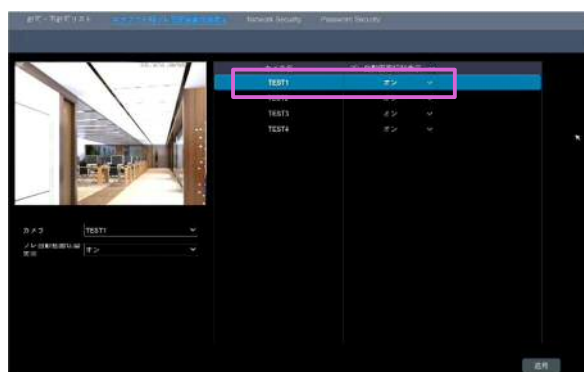
- ⑧ [適用]をクリックします。

### 3.2.2. ログアウト時プレビュー

- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。



- ② 「ユーザー権限」画面で[許可・不許可リスト]をクリックします。



- ③ カメラを選択し、〈プレビュー表示〉を「オン」または「オフ」にします。  
「オン」にすると、ログアウト時にカメラのライブ映像を表示します。  
「オフ」にすると、ログアウト時にカメラのライブ映像を表示しません。

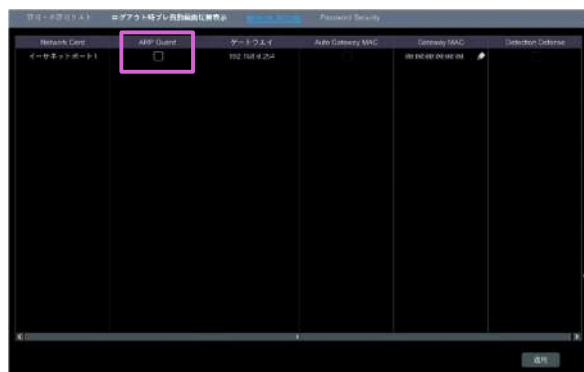
### 3.2.3. Network Security

- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。





- ② 「ユーザー権限」画面で[Network Security]をクリックします。



- ③ 〈ARP Guard〉のチェックボックスにチェックを入れます

#### Network Security の項目

ARP ガード	アドレス解決プロトコルガード。この機能により、LAN を ARP 攻撃から保護し、ネットワークを安定して稼働させることができます。
---------	---

### 3.2.4. Password security

- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。



- ② 「ユーザー権限」画面で[Password Security]をクリックします。



- ③ パスワードの〈Level〉と〈Expiration Time〉を設定して、[適用]をクリックします。

### Password Security の項目

Level	設定するパスワードに求めるセキュリティの強さです。
Expiration Time	パスワードの有効期限です。

## 3.3. ユーザー状態


### 3.3.1. オンラインユーザー

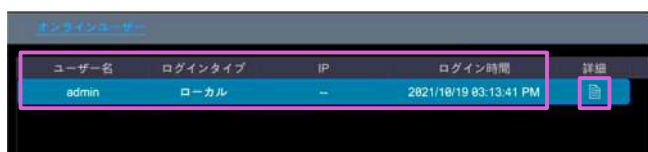
- ① 設定パネルの[ユーザー権限]をクリックします。



- ② [ユーザー状態]をクリックします。

〈オンラインユーザー〉の〈ユーザー名〉、〈ログインタイプ〉、〈IP〉(アドレス)、〈ログイン時間〉を確認できます。

 をクリックすると、プレビュー表示ユーザー数と再生ユーザー数を確認できます。



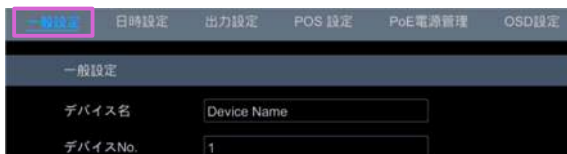
## 4. システム

### 4.1. 一般

- ① 設定パネルの[一般]をクリックします。



#### 4.1.1. 一般設定



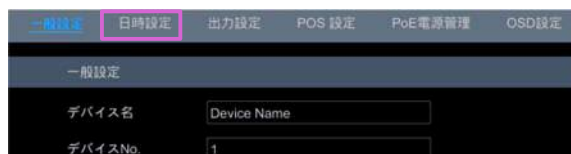
- ① 画面上部の[一般設定]をクリックします。



#### 一般設定の項目

デバイス名	デバイスの名称。ユーザーがリモートでデバイスを認識するのに役立ちます。
映像形式	「PAL」または「NTSC」。カメラに合わせて動画形式を選択します。
メイン出力	〈ディスプレイ解像度固定〉を有効にして、必要に応じてメイン出力を選択します。
待機時間	設定した時間内に操作が行われないと、自動的に画像が切り替わります。

### 4.1.2. 日時設定



- ① 画面上部の[日時設定]をクリックします。

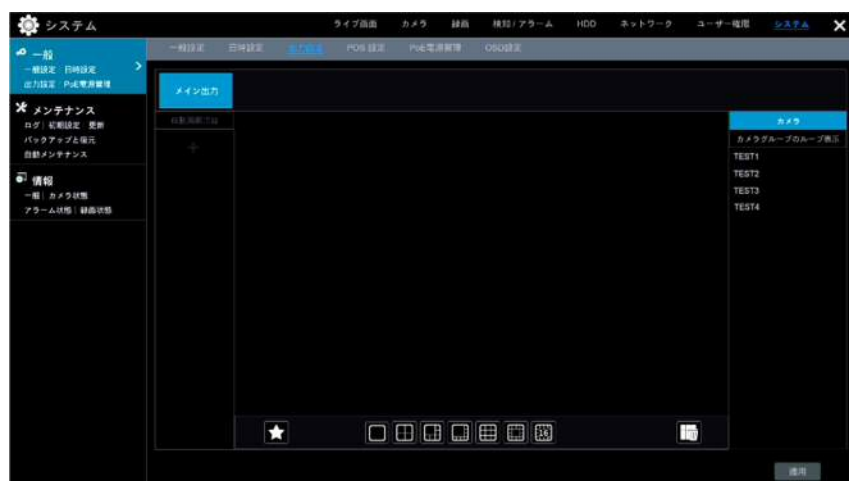
#### 日時設定の項目

日時設定	〈システム時間〉、〈日付形式〉、〈時間形式〉を設定します。
ネットワークと日時同期	システム時間の同期方法と NTP サーバーを設定します。
タイムゾーン/サマータイム	タイムゾーンを設定します。標準のタイムゾーンは「GMT+09 大阪、札幌、東京、ソウル」です。

### 4.1.3. 出力設定



- ① 画面上部の[出力設定]をクリックします。



メインインターフェースの映像表示画面を設定します。



#### 4.1.4. POS 設定



- ① 画面上部の[POS 設定]をクリックします。

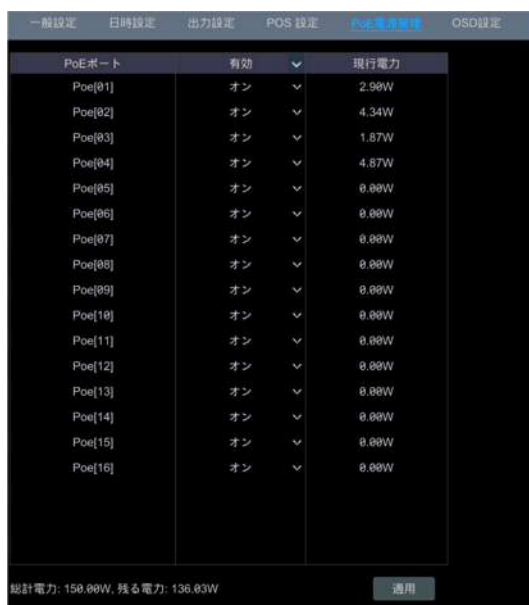


POS との接続設定、〈ディスプレイ設定〉等を行います。

#### 4.1.5. PoE 電源管理

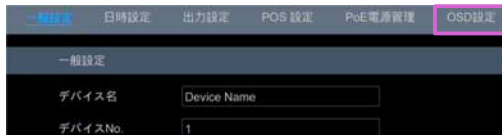


- ① 画面上部の[PoE 電源管理]をクリックします。

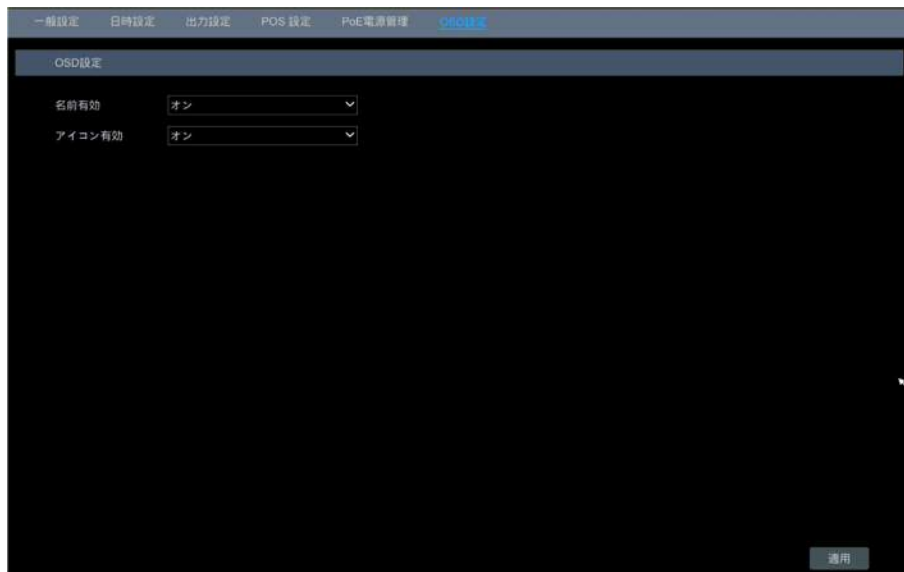


PoE 電源の有効/無効を設定します。

#### 4.1.6. OSD 設定



- ① 画面上部の[OSD 設定]をクリックします。



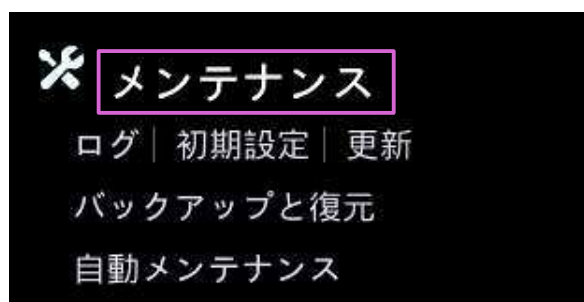
OSD の「名前」と「アイコン」の有効/無効を設定します。

## 4.2. メンテナンス

- ① 設定パネルの[システム]をクリックします。



- ② [メンテナンス]をクリックします。




### 4.2.1. ログ



- ① 画面上部の[ログ]をクリックします。



ログの検索と出力を行います。

 をクリックすると、ログの詳細情報を確認できます。

 をクリックすると、ログの録画映像が再生できます。

### 4.2.2. 初期設定



- ① 画面上部の[初期設定]をクリックします。

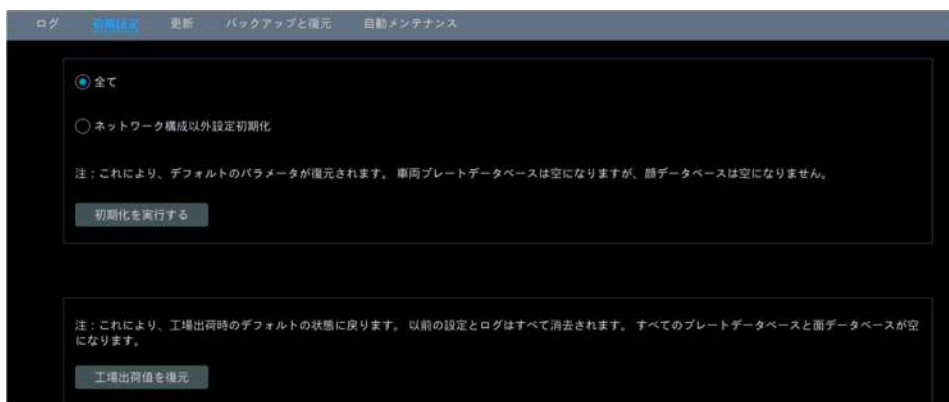


各種設定を、標準の設定に戻します。または、NVR を工場出荷時の状態に戻します。

### 4.2.3. 更新



- ① 画面上部の[更新]をクリックします。



各デバイスのファームウェアなどを更新します。

#### 4.2.4. バックアップと復元



- ① 画面上部の[バックアップと復元]をクリックします。



NVR の設定を他のストレージデバイスにバックアップします。  
バックアップファイルを使用して、設定を復元できます。  
また、他の NVR にバックアップファイルの内容を復元することができます。

#### 4.2.5. 自動メンテナンス



- ① 画面上部の[自動メンテナンス]をクリックします。



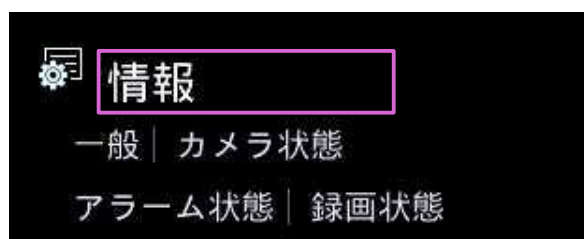
設定した「日付間隔」、「時間」に NVR が自動で再起動します。

## 4.3. 情報

- ① 設定パネルの[システム]をクリックします。



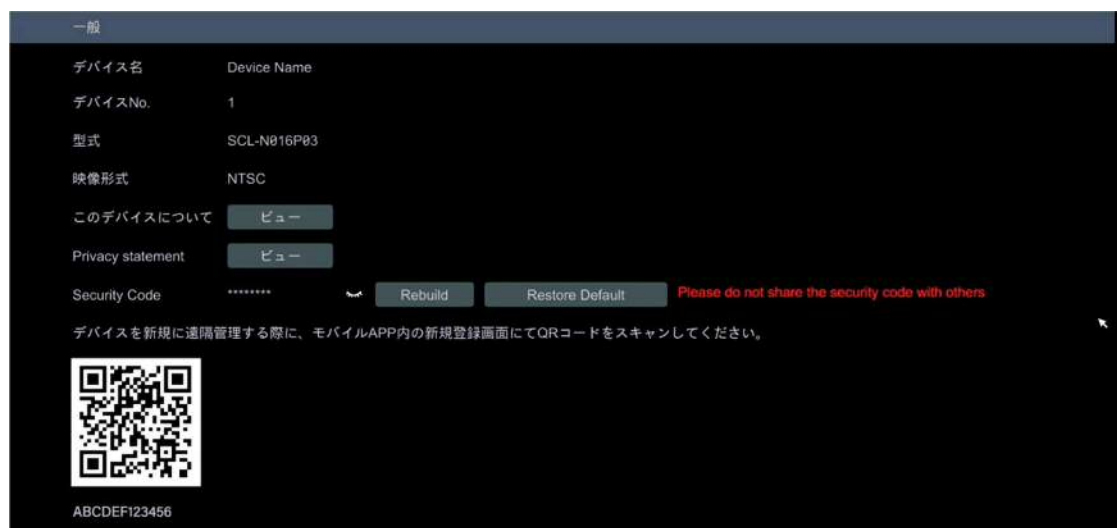
- ② [情報]をクリックします。



### 4.3.1. 一般



- ① 画面上部の[一般]をクリックします。



NVR の一般情報を確認できます。



### 4.3.2. カメラ状態



- ① 画面上部の[カメラ状態]をクリックします。

カメラ名	状態	動体検知	スマート検知	録画
IPC	オンライン	警報中	アラーム無し	録画
06FA01	オンライン	警報中	—	録画
IPC	オンライン	警報中	—	録画
IPC	オンライン	警報中	アラーム無し	録画

NVR に接続されているカメラの情報を確認できます。

### 4.3.3. アラーム状態



- ① 画面上部の[アラーム状態]をクリックします。

カメラ名	状態	動体検知	スマート検知	録画
IPC	オンライン	警報中	アラーム無し	録画
06FA01	オンライン	警報中	—	録画
IPC	オンライン	警報中	—	録画
IPC	オンライン	警報中	アラーム無し	録画

各アラームの正常/異常を確認できます。

### 4.3.4. 録画状態



- ① 画面上部の[録画状態]をクリックします。

カメラ名	状態	ストリーミング	FPS	ビットレートタイプ	画質	画質	解像度	録画タイプ
IPC	録画	メインストリーム	30	VBR	高	2045 / 3072 Kbps	2592x1520	手動/動体検知/スケジュール
IPC	録画	サブストリーム	30	CBR	—	530 / 512 Kbps	704x480	手動/動体検知/スケジュール
06FA01	録画	メインストリーム	30	VBR	高	2475 / 3072 Kbps	2160x2160	手動/動体検知/スケジュール
06FA01	録画	サブストリーム	30	CBR	—	515 / 512 Kbps	480x480	手動/動体検知/スケジュール
IPC	録画	メインストリーム	30	VBR	高	2763 / 3072 Kbps	1920x1080	手動/動体検知/スケジュール
IPC	録画	サブストリーム	30	CBR	—	545 / 512 Kbps	704x480	手動/動体検知/スケジュール
IPC	録画	メインストリーム	30	VBR	高	1895 / 5120 Kbps	3840x2160	手動/動体検知/スケジュール
IPC	録画	サブストリーム	30	CBR	—	513 / 512 Kbps	704x480	手動/動体検知/スケジュール

NVR に接続されているカメラの録画設定を確認できます。

### 4.3.5. ネットワーク状態



① 画面上部の[ネットワーク状態]をクリックします。

属性	値
イーサネットポート1	オンライン
IPv4 アドレス	192.168.0.1
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 ゲートウェイ	192.168.0.254
IPv4 DHCP状態	成功
IPv6 アドレス	::
IPv6 マスク長さ	0
IPv6 ゲートウェイ	::
IPv6 DHCP状態	エラー
MACアドレス	00:0F:3A:A3:0F:DB
内部イーサネットポート	オンライン
IPv4 アドレス	10.151.151.1
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
IPv6 アドレス	fe8b::ffff:10:151:151:1
IPv6 マスク長さ	64
優先DNS	192.168.3.1
代替DNS	192.168.0.254
Preferred IPv6 DNS	
Alternate IPv6 DNS	
PPPoE状態	無効

NVR に接続されているネットワークの各属性値を確認できます。

### 4.3.6. HDD



① 画面上部の[HDD]をクリックします。

HDD	タイプ	Free/Capacity[GB]	状態	ソース	グループ	録画期間
HDD1	オーディナリーディスク	1531.88/1863	RW(Not Encrypted)	ローカル	1	2021/10/11~2021/10/21

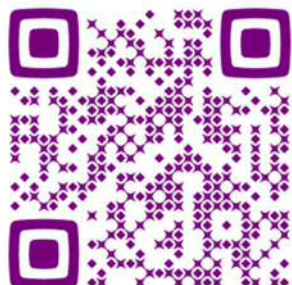
NVR の HDD(ハードディスク)情報を確認できます。

Secula 製品ご購入後のご質問は下記にて対応しております。

※ 非正規出荷品(Secula シリーズ)以外の場合はお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

※ 故障時の修理につきましては、お買い上げいただいた販売店様にお尋ねください。

▶ Secula シリーズ ホームページ



<https://secula.solidcamera.net>

- ・ ソフトウェアまたは資料等のダウンロード
- ・ よくあるご質問

▶ ソリッドカメラ ホームページ



<https://www.solidcamera.net>

▶ お問い合わせ窓口

Secula サポート専用ダイヤル

**0120-223-323**

受付時間:午前 9 時～午後 6 時  
(土曜・日曜・祝日、夏季休暇・年末年始を除く)

お問い合わせフォーム





4 / 8 / 16 / 32 CH

## PoE NVR 取扱説明書 〔詳細設定編〕

2021 年 12 月 10 日 第 1 版発行

